

公 表 日	
令和	4年10月3日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和4年度 鶴田ダム周辺整備利活用外検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 鶴田ダム管理所長 廣松 洋一 鹿児島県薩摩郡さつま町神子3988-2
契約年月日	令和 4年10月 3日
契約業者名	令和4年度 鶴田ダム周辺整備利活用外検討業務水源地環境センター・西日本
契約業者の住所	東京都千代田区麴町2-14-2 麴町NKビル
契約金額	20,097,000円(税込み)
予定価格	20,097,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	
業務場所	鹿児島県薩摩郡さつま町神子地先
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4年10月 4日
履行期間(至)	令和 5年 2月28日
備考	

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契約理由書

1. 業務件名 令和4年度 鶴田ダム周辺整備利活用外検討業務
2. 履行場所 鹿児島県薩摩郡さつま町神子地先
3. 契約の相手方 住 所：東京都千代田区麹町2-14-2 麹町NKビル
会社名：令和4年度 鶴田ダム周辺整備利活用外検討業務水源地環境センター・西
日本技術開発・東京建設コンサルタント設計共同体
電 話：03-3263-9921
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、鶴田ダム周辺のより一層の利活用に向けて、曾木発電所遺構の復旧検討を行うとともに、鶴田ダムを活用したインフラツーリズムなどの広報・利活用方策を検討することを目的とする。また、復旧について検討するための関係機関との協議資料作成を行うものである。

2) 業務の内容

- | | |
|----------------|----|
| 1. 計画準備 | 1式 |
| 2. 利活用検討 | 1式 |
| 3. 曾木発電所遺構復旧検討 | 1式 |
| 4. レンガ材料試験 | 1式 |
| 5. 関係機関協議資料作成 | 1式 |
| 6. 復旧記録作成 | 1式 |
| 7. 報告書作成 | 1式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

鶴田ダム管理所 専門官